



## 偏見を変える努力の力



国籍	ベトナム
職種	座席シート縫製
実習実施者	株式会社愛和
監理団体	NMG 協同組合

グエン ティ ジェム  
NGUYEN THI DIEM

来日してからもう3年、正に光陰矢の如し。3年、長くないけど短いと言う訳でもない。この3年間、日本で色々な体験をさせて頂きました。2018年3月に来日しました。縫製の会社に入る前に研修センターで勉強しなければなりませんでした。縫製の経験があったけれど、ベトナムでのミシンは座って操作するミシンなので、日本の立って作業するミシンにはちょっと慣れていませんでした。毎日一生懸命頑張って練習して、やっと慣れてきました。毎週末に他の皆さんは、社長や会社の人々が訪ねてきて食事などに連れて行ってもらいましたが、私のところには来てくれないので、それを見て羨ましかったです。

組合の監理担当者からは「あなたが行く会社では素直で真面目に仕事をして、更に喧嘩や失踪なんて絶対ダメです。なぜかと言うと実は数年前に会社はベトナム人を雇ったことがありますが、喧嘩や失踪などの問題でここ5年程ベトナム人の代りに中国人を雇用されていると言うことです。だから、皆さんはそんな二の舞を演じては絶対ダメだ」と何回も注意されていました。なるほどです。社長は前からベトナム人に対して良くないイメージばかりを持っていた

ので、もしかしたらベトナム人全員は悪いって一括りにされるかも知れないってずっと心配していました。そして、とうとう会社に行く日が来ました。私の会社では社長が従業員皆を車で迎えに来てくれるので、仕事の初日、早くからアパート前で待っていて、車が来たらすぐに「おはようございます！」とお辞儀をしました。しかし、社長からはたった一言の返事も貰えず、なんか失敗したと感じてしまいました。もしかして日本の夢はこれで終わりだったりしてと先行きに不安を感じました。

このままだとダメだ。こう言う偏見を変えられる方法は絶対ある。それは何だろう。答えは努力だ。そうです。自分のためだけではなく、今後のベトナムの後輩達のためなのです。努力は言葉だけでなく行動だ。それを決心してから毎日ミシンの技能を磨いて、一日一改善と言うことを方針として頑張りました。だんだん仕事に慣れてきましたが、仕事出来るだけがいいのではなく、更に日本語を勉強し、自分の意志や考えを正しく伝えることにより、信頼感を得て仕事、生活面の充実を図ることも重要だと意識していました。

私は技能検定試験3級に満点で合格しました。それは組合で初めての人だと言う朗報でした。何も言わないけど、社長の眼差しに誇りが溢れているのが分かります。時々近所からもらった野菜や果物があつたら私達にシェアしてくれます。ある日、会社の車が来て、いつも通り挨拶をしました。私が驚いたことは社長の「ハイ」との返事でした。なんかやったと言う嬉しい気持ちでした。「ハイ」、短い言葉なんですけど、大きな意味があると思います。それは私の努力を認めて頂き、そして偏見を変える努力の力を認める言葉でした。